



この間、エルダー制度を巡り どれだけ昭和採の年代が悔しい思いを させられているか会社は分かっているのか！ その象徴が今回の新潟運輸区の事象である！ 社員⇄現場長⇄人事課のパイプは詰まりすぎ

今回、一生に一度しかない「エルダー説明会」への周知を失念（業務遂行違反）したことを、「単なる連絡ミス」としか受け止められないのが「今の現場管理者」である。まさに「エルダー制度に対する誠意のない対応」！どこが人間尊重企業なんだ！これが新潟支社の質である！

昨年度エルダー契約をした社員からは「現場長が全然パイプ役になっていない」などの声が噴出しています。また、エルダー制度を希望しながら、会社の不誠実な対応もありエルダー契約ができなかった先輩も多くいます！

社員の声は雇用推進室に反映されていません！

昭和採用連絡会は、このような現実に対して強い怒りを覚え、エルダー制度問題だけに留まらぬ「会社の暴挙」に対して、新潟地本執行部を始めとする全ての組合員・社員と共に「全ての施策に対し、会社の誠意ある対応」を目指していきます。

一昨年までは雇用推進室が職場に来て、個別の説明を対面でやってくれていたのに、昨年何百人も一緒に集められ、説明会をやられている。本音や個別の現状を言えるわけがないだろ！

団塊世代の57歳原則出向の時は、もっと一人ひとり丁寧にやっていた。何なんだ！今の支社は！現場長が窓口と言いつつ、聞きに行っても何の情報もくれない。意味がない！

これまでも悔しい思いでエルダーを断った人の気持ちが分かるか！提示された外部企業のことを聞いても「知りません」で平然としやがって！！

